

令和7年度学校経営方針

1 学校教育課題（令和6年度学校評価結果及び学校の実態から）

（1）確かな学力の育成（維持）

- ① 主体的に考え、表現し、協働的に学ぶ子どもの育成（SP）
- ② 教員の授業改善（ICTの効果的な活用）
- ③ 基礎的・基本的な知識技能の習得（SP）と、個別最適な学び

（2）豊かな心・健やかな体の育成

- ① 優しさや思いやりの心を育む（SP）
- ② 新体力テストで、平均を下回る項目の改善（WP）

（3）家庭・地域とともにある学校

- ① 家庭・地域と連携・共同した教育活動の推進（SP）
- ② 家庭・地域から信頼される教職員

2 学校教育目標

夢に向かって未来に羽ばたく 朝陽のように明るく元気な子
○よく考え進んで学ぶ子 ○友達を思いやり協力する子 ○健康でたくましい子

令和2年度制定

3 今年度の努力目標

- （1）1人1台端末を効果的に活用しながら、主体的に考え、表現し、協働して課題を解決する子どもの育成に努める。
- （2）優しさや思いやりの心を育み、互いを認め合う心豊かな子どもの育成に努める。
- （3）進んで運動に親しみ、健康に対する関心や意識をもつ、健康でたくましい子どもの育成に努める。

4 経営の方針

互いに響き合う、みんなの笑顔があふれる学校 ～ 学び合う・活かし合う・認め合う ～

一人一人の子どもが自分の考えや友達の考えをお互いにやり取りする学び合う場や自分の個性を活かせる場を充実させたい。その中で、一人一人のよさや違いを認め合える関係性、学ぶことの楽しさや喜び、さらには集団の中で認めてもらえたという存在感・有用感を味わわせたい。その積み重ねをこれからの社会を生き抜く力を育むための基盤と捉えて、お互いが響き合う関わりを大切にし、みんなの笑顔があふれる学校をめざしていきたい。

5 めざす学校像・子ども像・教師像

(1) めざす学校像

- ① すべての児童に学びが保障されている学校
- ② すべての児童に所属感と安心感のある学校
- ③ 保護者と地域に信頼される学校

子どもにとって、通いたい学校でありたい	保護者にとって、通わせたい学校でありたい
地域にとって、応援したい学校でありたい	教職員にとって、働きたい学校でありたい

(2) めざす子ども像（四中クインテット 目指す子ども像）

- ① 進んで学習に取り組み、夢や目標の実現に向けて努力する人
- ② 思いやりの心をもって仲間づくりができる人
- ③ 命を大切にし、めあてを持って心身をきたえる人

(3) めざす教師像

- あ** 愛情と情熱をもって子どもに接し、使命感と誇りをもつ教師（教職に対する強い情熱）
- さ** 更に自分の力量を高めていこうとする教師（専門家としての確かな力量）
- ひ** 広い見識と豊かな人間性を持ち、心身ともに明るく健康な教師（総合的な人間力）

6 経営の重点（努力目標達成のための具体的方策）

(1) よくわかる、できる、楽しい授業の充実を図る。

- ・ ロイロノートを効果的に活用しながら、主体的に課題解決の見通しをもたせ、考えの伝え合いや、学び合いを大切にした授業を展開する。
- ・ ICTの活用、教材や板書を工夫し、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりを進める。
- ・ 地域の人的物的教育資源や朝陽かるたを活用し、教科等横断型指導や、年間指導計画

(カリキュラム・マネジメント)の工夫を進める。

- ・ A I ドリルを効果的に活用しながら、個別最適な学びの実現を図る。

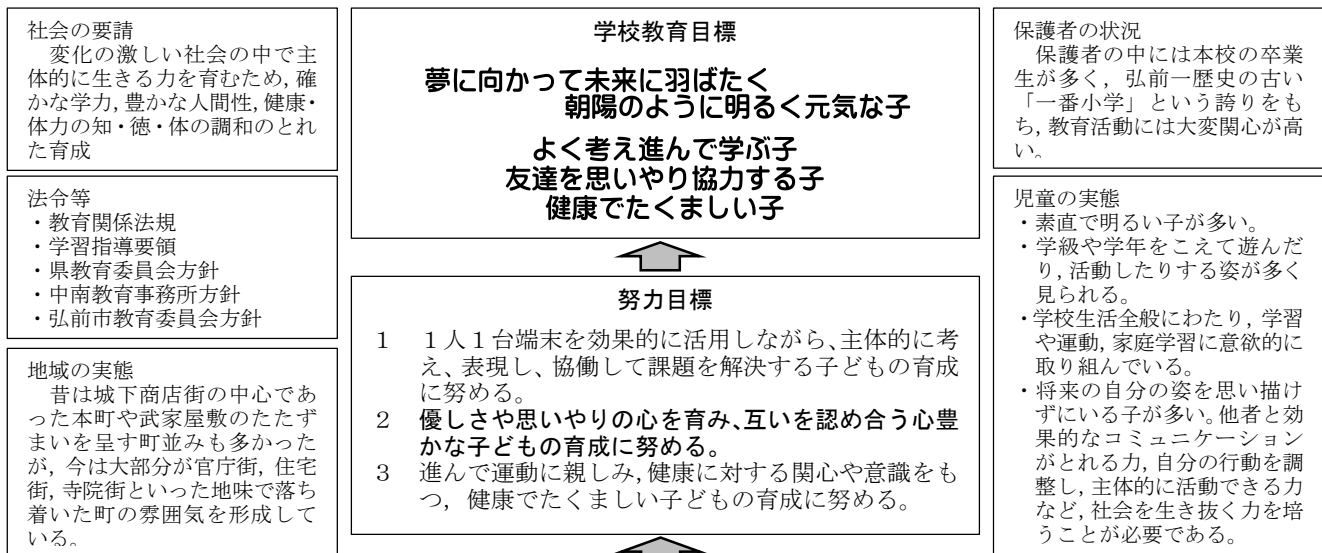
(2) 自主的・自治的な活動の中で、一人一人の個性を活かしながら豊かな心を育む。

- ・ どの子にも居場所のある学級、学年、学校づくりを進める。
- ・ 学級活動の継続的指導や、異学年交流の充実に努める。
- ・ あさひ運動や、特別の教科 道徳を要としながら、全教育活動の中で思いやりの心、他者と共生し、よりよく生きようとする道徳性を養う。

(3) 体力づくりと健康・安全教育の充実に努める。

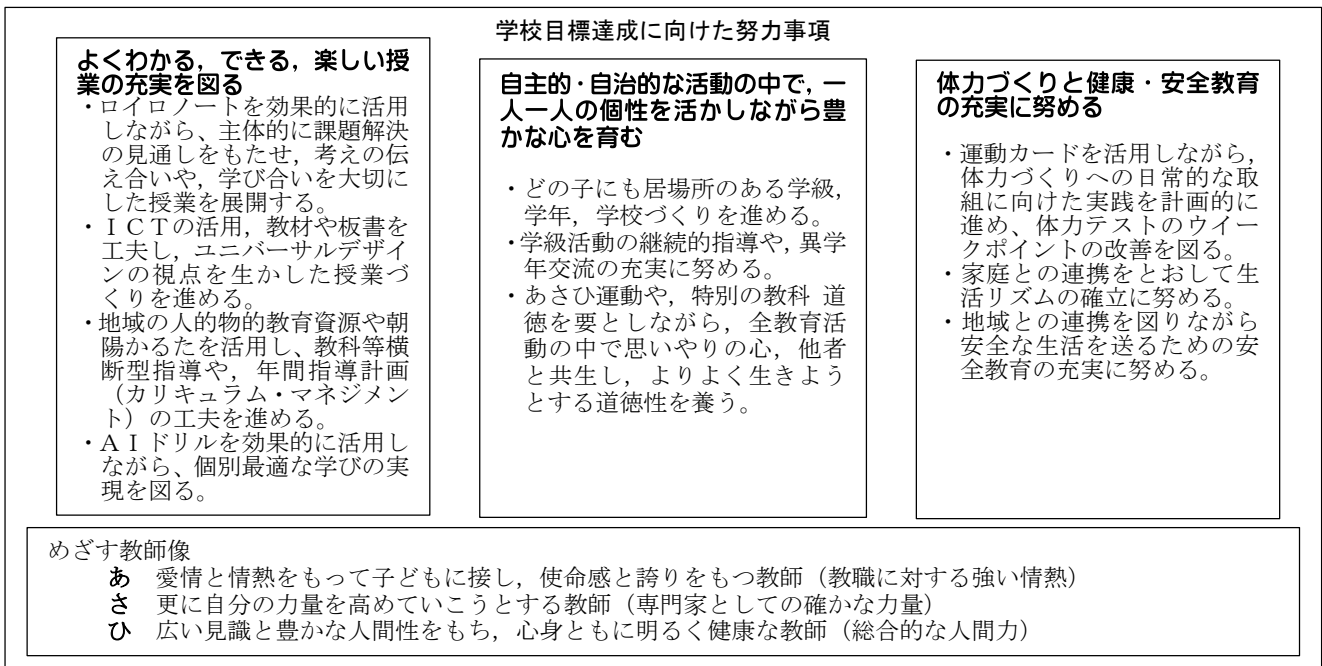
- ・ 運動カードを活用しながら、体力づくりへの日常的な取組に向けた実践を計画的に進め、体力テストのウイークポイントの改善を図る。
- ・ 家庭との連携をとおして生活リズムの確立に努める。
- ・ 地域との連携を図りながら安全な生活を送るための安全教育の充実に努める。

7 学校教育目標の具現化構想図



互いに響き合う、みんなの笑顔があふれる学校 ～ 学び合う・活かし合う・認め合う ～

一人一人の子どもが自分の考えや友達のをお互いにやり取りする学び合う場や自分の個性を活かせる場を充実させたい。その中で、一人一人のよさや違いを認め合える関係性、学ぶことの楽しさや喜び、さらには集団の中で認めてもらえたという存在感・有用感を味わわせたい。その積み重ねをこれからの社会を生き抜く力を育むための基盤と捉えて、お互いが響き合う関りを大切に、みんなの笑顔があふれる学校をめざしていきたい。



学級目標・特別支援学級目標

	知育（学）	徳育（心）	体育（体）
1年	よくはなしをきき げんきにはっぴょうする子	なかよく たすけあう子	げんきに うんどうする子
2年	よく話を聞き 元気にはっぴょうする子	なかよく たすけあう子	元気に うんどうする子
3年	めあてをもち 進んで勉強する子	思いやりの心をもち 協力し合う子	めあてをもち 進んで運動する子
4年	めあてをもち 進んで勉強する子	思いやりの心をもち 協力し合う子	めあてをもち 進んで運動する子
5年	問題意識をもち 意欲的に学習する子	思いやりの心をもち みんなのために働く子	ねばり強く 体力づくりにはげむ子
6年	問題意識をもち 意欲的に学習する子	思いやりの心をもち みんなのために働く子	ねばり強く 体力づくりにはげむ子
サポートルーム1	話をよく聞く子	友だちとなかよくする子	元気に運動する子
サポートルーム2	話をよく聞く子	友だちとなかよくする子	元気に運動する子
サポートルーム3	話をよく聞く子	友だちとなかよくする子	元気に運動する子
サポートルーム4	話をよく聞く子	友だちとなかよくする子	元気に運動する子
たんぼぼ学級	楽しく学習する子	なかよく生活する子	病氣回復につとめる子